

BANZAI NEWS

2023
Autumn
328

MSTシリーズ初の無線接続!

Windows10搭載タブレット!!

型式認定
第1号



OBD車検の時代へ、
整備ビジネスを変えるフラッグシップモデル登場!

整備用・検査用スキャンツール

MST-nano

- メンテナンスモード
- DPFモード
- 車両登録機能
- QRコード読取
- 高耐久タブレット採用
- エイミング機能
- LEDライト
- 印刷機能

国産乗用車／国産トラック・バス／輸入車合わせて**23メーカー**に標準対応

特集
BANZAI NEWS

自動運転技術の進化・
普及をチャンスにできるお店作り

BANZAI 株式会社 バンザイ

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

営業部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6881

海外販売部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6894

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700

東京支店
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6840

名古屋支店
名古屋市千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600

大阪支店
東大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261

- 営業所 旭川・青森・秋田・盛岡
郡山・山形・新潟・長野
前橋・宇都宮・水戸・埼玉
千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸
高松・宮崎・鹿児島
- 出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・山陰・長崎
大分・熊本
- 販売会社 バンザイ沖縄販売(株)

<https://www.banzai.co.jp>



ISO9001 認証取得
ISO14001 認証取得

バンザイはSDGsを推進する
日本ユネスコ協会連盟の維持
会員として支援しています。



青空と紅葉のなかを走る道 長野県高山村

澄みきった青空のもと、輝くような紅葉を縫って続く、高原の道。黄色に紅に、樹々の葉に鮮やかな絵の具を落として描き上げたような、北信州高山村の紅葉。初秋から晩秋へ、季節の移ろいは山々の色を次第に深め、高原の寒気とともに紅葉はふもとへと下っていきます。

★歳時記

- 11月 3日 文化の日
- 8日 立冬
- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日
- 12月 22日 冬至
- 25日 クリスマス



●目次

★特集

- 相次ぐパラダイムシフトへ
果敢に挑戦できるサービスショップとなるには?..... ①
- 【第3回】自動運転技術の進化・普及をチャンスにできるお店作り
- ★モデルショップ訪問
- [モビルオート株式会社 カーテックセンター・カーリニューアルセンター]... ⑥
変化する地域と、働く人の環境づくりへ
新時代の都市型サービス工場を完成
- ★EPOCH <第21回学生フォーミュラ日本大会2023>..... ⑧
- ★ショールーム..... ⑩
- ★TOPICS<海外情報>タイTAPA 2023..... ⑫
- ★ロータリー..... ⑬
- ★BANZAIガイド..... ⑭

特集

BANZAI NEWS

相次ぐパラダイムシフトへ
果敢に挑戦できるサービスショップとなるには?

第3回 自動運転技術の進化・普及をチャンスにできるお店作り

ADAS (先進運転支援システム) を含めた自動運転技術の進化・普及に伴い、交通事故の発生件数は年々減っており、事故によるサービスショップへの入庫台数も減少傾向にあります。

またその間に、特定整備制度が2020年4月、OBD点検が2021年10月より開始され、同年11月に衝突被害軽減ブレーキの装着が義務化。そしてOBD検査の開始を2024年10月に控えるなど、整備・修理技術の高度化と関連法規・制度の厳格化も進んでいます。

当連載「相次ぐパラダイムシフトへ果敢に挑戦できるサービスショップとなるには?」、3回目の今回は、こうした自動運転技術の進化・普及をどうチャンスにできるかを、考えていきたいと思います。



交通事故発生件数は ピーク時の1/3へ激減。 その理由と対策は？

事故などにより損傷した箇所を元通りに戻す車体修理は、裏を返せば、事故などによって車体が損傷することにより初めて発生するビジネスといえます。従って、警察庁が公表している交通事故の発生件数は、人の死亡または負傷を伴う事故を対象としているため、車体修理を手掛けるサービスショップへの全入庫台数とイコールではないものの、その多くを占める重要な指標になると考えられます。

そうした観点から警察庁の交通事故統計データを見てみると、まず発生件数は、2004年の95万2720件をピークとして、以後毎年減少しており、直近の2022年には30万839件にまで減りました。なお負傷者数も2004年の118万3617人がピークで、2022年は35万6601人となっています。

そして、政府が最も重要視する24時間以内死者数は、「第一次交通戦争」と呼ばれる1955～74年の真っ只中、1970年の1万6765人が最も多く、死者数が再び1万人を超えた1988～95年の「第二次交通戦争」中は1992年の1万1452人がピークとなっていま

す。しかしながら、1993年以降はほぼ毎年死者数が減少。2022年には2610人にまで減りました。

なお、24時間以内死者数を含む30日以内死者数は、統計を開始した1993年が最も多く1万3272人で、2022年は3216人。負傷者数のうち重傷者数は1969年が最も多く12万7866人で、2022年は2万4799人へと減少しています。

つまり、交通事故の発生件数、負傷者数、30日以内死者数ともピーク時の約1/3、重傷者数と24時間以内死者数に至っては同じく約1/5～1/6となっているのです。

その要因には、交通違反に対する取り締まりと罰則の強化、交通網の整備なども挙げられますが、クルマ自体の安全性向上、また政府や業界団体などによる安全技術の普及啓発策も、大きく寄与していることは間違いありません。

それは、死者数の減少傾向が、安全ボディやエアバッグなどの衝突安全技術が普及し始めた時期、発生件数や負傷者数の減少傾向が、衝突被害軽減ブレーキやレーンキープアシスト、アダプティブクルーズコントロールなどのADAS(先進運転支援システム)が市販化され始めた時期と、ほぼ一致することからも見て取れます。



交通事故発生件数の推移 (出典：警察庁「令和4年中の交通重傷事故の発生状況」)

乗用車等の衝突被害軽減ブレーキに関する保安基準(概要) 国土交通省

基準制定の経緯

- 2017年1月、国連WP29(自動車基準調和世界フォーラム)傘下の専門分科会において、日本の提案により、乗用車等の衝突被害軽減ブレーキ(AEBS)の国際基準の検討が開始。
- 日本は、AEBSの具体的な要件を検討する専門家会議の議長を欧州委員会と共同で務め、官民オールジャパン体制で議論をリード。これにより、2019年6月、WP29で協定案第152号として成立。
- 「乗用車等及び高級乗用車の交通安全緊急対策」(2019年6月18日閣議決定)に基づき、2020年(月)31日に国内基準(保安基準)を改正・公布。

主な要件

- 静止車両、走行車両、歩行者に対して試験を行い、所定の制動要件を満たすこと。
- エンジン始動のたびに、システムは自動的に起動してスタンバイすること。
- 緊急制動の0.8秒前(対歩行者の場合、緊急制動開始)までに警報すること。

適用時期

- 他の国に先行し、2021年以降段階的に新車を対象に義務化する。

車種	適用時期	輸入車
乗用車	2021年11月	2024年7月
軽自動車	2025年1月	2028年7月

衝突被害軽減ブレーキ装着義務化の概要 (出典：国土交通省)

また、これらのシステムは、事故の発生自体を減らすだけではなく、事故を防げなかったとしてもその際の被害を軽減するため、事故の規模を抑えることにも寄与しています。

そして2021年11月、国産車の新型車より衝突被害軽減ブレーキの装着が義務化。同じく継続生産車は2025年12月、うち軽トラックは2027年9月、輸入車の新型車は2024年7月、同じく継続生産車は2026年7月より義務化されます。

痛ましい交通事故が減り、その規模も軽減することは、これによって不幸になる人が減ることとイコールですので、本来は非常に喜ばしいことです。しかしながら、車体修理を営むサービスショップの皆様にとっては、入庫台数と損傷規模の減少は収益の減少に直結するため、非常に悩ましい問題ではないかと推察します。

となれば、骨格修正や溶接部品の交換が必要となる大破の車両よりも、外板のみ交換が必要な中破の車両、それよりもさらに外板の钣金・塗装のみ必要な小破の車両の、総入庫台数に占める比率と、ビジネス上のウェイトが、以前にも増して高まります。

そこで必要となるのが、小破の車両を効率良く短時間で安価に修理するための、軽钣金やペイントレ



ペイントレスデントリペアでは棒状のツールなどを駆使してボディの内側から凹みを押すことで損傷を修復する

スデントリペアのツール導入と、技術習得です。これらは本格的な車体修理ほど大規模な設備は必要なく、現時点で車体修理を自社で実施していないサービスショップでも導入可能ですが、独自のツールを使いこなす技術、そしてカーオーナーへのサービス提供の方法・考え方を学ぶことは必要不可欠です。

しかも近年は、台風・洪水・雹・大雪・地震・噴火などといった自然災害の発生が各地で増えています。とりわけ雹は無数の小さな凹みをルーフなどの外板に生じさせるため、2022年6月に関東全域で発生した雹害ではデントリペア技術者が不足し、長期間入庫待ちを余儀なくされるカーオーナーも多かったといいます。

こうしたピンチをチャンスに変え、カーオーナーに喜ばれ、大きな収益を得るためにも、新たな修理技術・ツールを得て、突発的な災害への対応力を強化することは、極めて重要ではないでしょうか。

エイミングが必要なADAS 装着車の普及は台あたり 単価大幅アップの好機!?

ここで少し視点を変え、日整連(日本自動車整備振興会連合会)が毎年発表している事故整備売上高を見てみると、交通事故発生件数ほど大きくは減少していないことがわかります。過去10年間を比較しても、交通事故発生件数は2012年が66万5157件、2022年が30万1193件と、約55%も減少しているのに対し、事故整備売上高は2012年が1兆1868億円、2022年が1兆43億円と、約15%の減少に留まっています。

その理由としては、前述の軽補修やデントリペアにすでに取り組んでいるサービスショップのご努力のほか、部品価格や材料費の高騰、複雑な塗膜構成や耐スリ傷性クリヤーを持つボディカラーの普及なども挙げられます。ですが最も大きいのはやはりADASの普及、つまりセンサーの脱着・交換とその

後のエイミングが必要となる車両が増えたことで、台あたり単価が上昇したと考えるべきでしょう。

従って、ADASのエイミングに対応しないことは、台あたり単価の大幅アップを期待できるADAS装着車の入庫をみすみす逃すことにつながります。

また、特定整備制度が2020年4月、OBD点検が2021年10月より開始され、2024年3月には特定整備制度における電子制御装置整備認証の経過措置が終了。電子制御装置整備対象車両のセンサーおよびその装着部位の脱着・交換やエイミングに加え、OBD点検を実施したOBD搭載車に対し指定整備工場が保安基準適合証を交付するのにも、電子制御装置整備認証の取得が必要になります。またその際には、所定の条件を満たした整備士や作業場、作業に必要な整備情報の入手体制のほか、整備用スキャンツールと水準器も必要となります。

なお、特定整備制度の開始直後は電子制御装置整備の対象車両もごく限られていましたが、その後発売された新型車やマイナーチェンジ一部改良車より徐々に増加。特に大半の車種・グレードにADASを標準装備するトヨタ、レクサス、ホンダ、スバルなどは、現在新車販売されているほぼ全車種が電子制御装置整備の対象車両となっております。

そして、OBD検査が2024年10月より(輸入車は2025年10月より)開始されるのに先駆け、2023年10月よりプレ運用がスタートしました。このOBD検査に対応するには、型式認定を取得した検査用スキャンツールのほか、OBD検査システムへの登録と特定DTC照会アプリのインストールが必要です。

そこで改めてご提案したいのが、ADAS用センサーの調整だけに留まらずボディ・シャ

シー全体も点検整備することでADASの正常動作を確認する「トータルエイミング」です。バンザイではこれを、デジタル化された最新の整備機器により作業の早さ・正確さ・省力化をアップグレードさせた「トータルエイミングスマート」を、6月に開催されたオートサービスショー2023より提唱いたしております。

単に電子制御装置整備認証やOBD検査に対応するだけでは、あくまで義務を果たしただけで、エイミングビジネスのスタートラインに立ったに過ぎません。さらに一歩踏み込んで、他のサービスショップとの差別化・高付加価値化、ひいては高収益化を図るうえでも、「トータルエイミングスマート」は大きな武器になり得ます。詳細についてはバンザイ営業スタッフへお気軽にお問い合わせ下さい。

今回は人手不足の問題に焦点を当て、「少子高齢化や管理台数増加が進んでも慌てないお店作り」について考えたいと思います。



「OBD検査ははじまります!」ポスター (出典:自動車技術総合機構)



オートサービスショー2023バンザイブースでの「トータルエイミングスマート」実演の様子



事故整備売上高の推移 (出典:日本自動車整備振興会連合会「自動車分解(特定)整備事業実態調査結果概要」)

変化する地域と、働く人の環境づくりへ 新時代の都市型サービス工場を完成

「エネルギーとカーライフの明日を創る」モービルオート株式会社では、このたび横浜市中心部に立地する本社整備工場を移転新築し、整備、車体整備部門を統合した最新の整備工場として、都市化・市街地化する地域社会の変化に対応する最新のサービス体制を実現しています。



サービス工場の感覚を一新した外観。周辺では再開発による地域整備が進む。



ブースのダクトは建屋内に内装し、スマートな外観に。



代表取締役社長
新倉 芳郎 氏



常務取締役
齋藤 健太 氏

横浜都心エリアの未来化に対応

同社では横浜市神奈川区と相模原市の指定整備工場2拠点と、神奈川区および都内大田区池上のガソリンスタンド2拠点に認証工場を併設し、計4工場の体制で主に法人顧客のリース車両を中心とするサービスに対応しています。

今回の新工場計画は、横浜市中心部の再開発計画に伴う移転によるもので、全体の規模としては旧工場の3分の2程度となり、併せて従来は別棟となっていた整備、車体整備部門を統合する形となったため、ストール配置等、レイアウトには大変苦心されたとのこと。

さらに工場地帯から住宅隣接地への移転となったことから、「作業者のための環境整備はもちろん、騒音、排気対策など周辺地域への配慮についても検討に検討を重ねました」と、代表取締役社長の新倉芳郎氏。そのため新工場は従来の整備工場、板金塗装工場のイメージを払拭したスマートな外観となっていることも特筆されます。

サービス環境と周辺配慮を設計に集約

新工場は2階建てとし、1階に整備工場と車体整備工場、2階に本社および食堂・休憩室、2階と屋上に駐車場を設けています。

主要設備は一般・重整備ストールにタンデムリフトを計10基、アライメントストールにワークステージXリフト1基を設備して車検・一般サービスに対応。また検査ラインには幅広い4WD車に対応するスーパーマルチテスターおよびネットワークシステムを導入し、車検業務の効率化と検査員の負担軽減を実現しています。

車体整備工場には各種の事故車両に対応する車体修正機を3ストールに導入。また下地、塗装工程は横移動レールとスライドパレットによりライン化し、塗装・乾燥ブース、パネルブース各1基へ車両のスムーズな移動を可能とし、また局所集塵装置の設置により粉塵の飛散を防止し、さらにブースのダクトを建屋内に内蔵するなど、クリーンな作業環境とともに周辺への美観にも配慮されています。



検査ラインにはスーパーマルチテスターを導入。4WD車の検査も容易に。



ネットワークシステムで検査業務もスムーズ。



全てのストールにマルチキューブエアコンを設備。快適環境を実現。



工場北側にはアライメント、クイック、重整備ストールを配置。



タンデムリフトなど、すべてのリフトはフラット仕様。



タンデムリフト2基で重整備に対応。



EV時代にも必須のアライメントに、ワークステージXを導入。



ドレンキャビネット、コンプレッサー等の配置も立体化でコンパクトに。



塗装乾燥ブース、パネルブース各1基で高品質な塗装を実現。



水性塗装化をほぼ100%達成。調色室はブースに直結、作業性も向上。



工場内は粉塵、溶剤臭もほぼ解消。



修正機3基であらゆる車体修正に対応。

未来担う人材の採用・育成にも期待

またメカニックが快適に働ける作業環境を実現するため、サービスストールにはすべてマルチキューブエアコンを導入。「オープンが7月だったので猛暑にも間に合い、また工場見学に来社する学生にもアピール効果抜群です」と常務取締役齋藤健太氏、リクルート面への効果も期待されています。

同社の周辺で進行する再開発計画では今後タワーマンションや公園、病院などの建設も予定され、市街化も急ピッチで進められています。

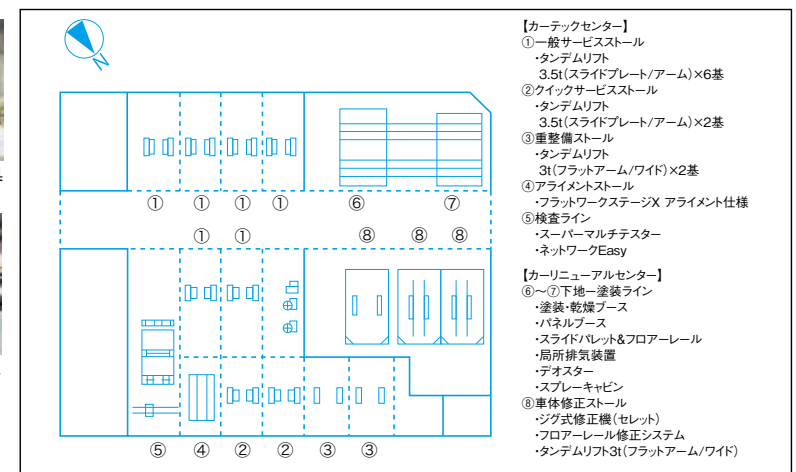
「都市部に立地するサービス工場として、これからは近隣地域への配慮がなければ生き残れません」と新倉社長。工場出入口にはスピードシャッターとシートシャッターの二重として騒音の防止を図り、また塗装ブースには防臭のためデオスターを完備するなど、都市の景観にもマッチした新コンセプトの工場を実現されています。



屋上からみなとみらいが一望。ダクトの開口部は塔屋に納める。



構内は一方通行として、スムーズな入出庫と安全を確保。



ものづくり・デザインコンペティション 「第21回学生フォーミュラ日本大会2023」開催!



「学生フォーミュラ日本大会」は公益社団法人自動車技術会の主催により、文科省、経産省、国交省ほかの後援および各メーカーなどの協賛のもとに、2003年に第1回を開催、本年は第21大会として、また4年ぶりの国際大会として開催されました。

今回は8月28日から9月2日までの6日間、静岡県小笠山総合運動公園で開催され、海外チームを含めた65チームが参加しました。バンザイは未来の自動車エンジニアを目指す学生たちの支援につながることを願い、この大会にスポンサーとして協賛しました。

■学生による「ものづくりの総合力」を競う

この大会は大学・高専などの学生がチームを組み、約1年間でフォーミュラスタイルの小型レーシングカーを開発・製作し、大会会場での得点を競うものです。学生自らがものづくりの本質やプロセスを学び、その面白さ、喜びを実感することと、あわせて自動車産業の発展・振興に貢献できる人材の育成を図ることが目的とされています。そのため、この大会ではたんにマシンの走行性能やレースタイムを競うだけでなく、車両の企画・開発や製造管理に関わる「ものづくりの総合力」が審査されることが大きな特徴となっています。



国内外から65チーム、6日間の来場者も約1万5千人を集める盛況に。



車検では安全性、ブレーキ、騒音、排気ガス、傾斜テストなどを実施。

■デザインから走行性能まで幅広く審査

本年の大会はICV (ガソリンエンジン) クラス、EV (電気) クラスの2つのクラスに分かれ、チームごとに構想から設計・製作まで、ゼロからのクルマづくりを行い、その総合力を競いました。

審査項目は幅広く、コスト、デザイン、プレゼンテーションなどを競う「静的審査」、およびアクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス、エンデュランスの4種目のコース走行による「動的審査」を経て総合的に順位が決定されます。



ICVクラス
【京都工芸繊維大学<1>】

EVクラス
【名古屋大学<E04>】



ビットで入念な点検、調整を実施。審査に備える各チームのマシン。

■自動車の未来を担う人材育成に期待

6日間にわたる大会の結果、総合優秀賞として京都工芸繊維大学が2連覇を達成。またカテゴリー別にはICVクラスの1位は京都工芸繊維大学<1>、EVクラスの1位は名古屋大学<E04>という結果でした。

また今年度は一般来場客の観戦も可能になり、活気のある大会となりました。この大会を通じて学生個々の能力向上と、自動車の未来を担う人材の育成につながることが期待されています。

■バンザイが大会スポンサーとして初協賛

この大会の趣旨に賛同し、バンザイとしては今回初めて大会スポンサーとして協賛しました。大会当日は企業PRコーナーにバンザイブースを設置。ハンドツールや軽量ジャッキ、スキャンツール等を展示し、バンザイ、及び、自動車整備業界をPRしました。

将来、自動車整備業界で活躍する人材が増えることを期待しています。



バンザイ
ブース

企業PRコーナーも盛況、バンザイのブースではハンドツール、軽量ジャッキなどを展示。

SHOW ROOM

SHOW ROOM

【フロアマット乾燥機】フロアマット乾燥機 BDB-FMD

フロアマットの乾燥がスピーディ、完全乾燥、除菌まで約30分!

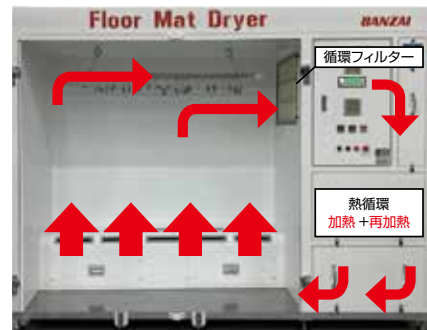
- 乾燥時間を大幅に短縮します!
- 一度に最大12枚(乗用車3台分)
- 電気料金は1回分(30分)約81円、低コストです!

■乾かすパワーが違います!

熱の力 + **風之力**
(設定最高温度80℃) (風速15m/sの大風量)

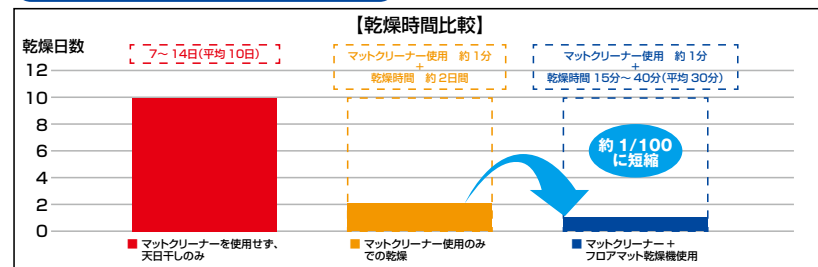
- 密閉・熱循環方式で高効率乾燥!
- 熱循環・フィルターで除菌効果!
- カビ・臭いの発生を予防!

熱風の流れ



■マットクリーナー+乾燥では約2日、→15~40分に大幅短縮します!

乾燥時間の比較



■仕様

型 式	BDB-FMD
乾燥方式	熱循環方式・上昇気流
外形寸法(mm)	W2,520 × L1,080 × H2,330
室内寸法(mm)	W1,600 × L1,000 × H1,920
乾燥機(電気ダクトヒーター)(kW)	9.8
循環ファン(ターボファン)(kW m ³ /min)	2.2 48(耐熱仕様)
電源(V kW)	三相 200 12.0
パネル(mm)	重厚断熱パネル 40
最高温度(℃)	80
設計風速(m/s)	吹出し口風速 約 15
操作盤	アナログ制御 押しボタン式
制御方式	・温度調節、タイマー設定機能有り・温風モード、送風モード切り替え可能 ・乾燥タイムアップ後、冷却タイム有り
安全装置	室内異常高温検知、ヒーター異常高温検知、感震器、非常停止ボタン、循環ファン異常

【リフトアタッチメント用キャリア】キャタピラ用アタッチメントキャリア CT-M-ATC/CT-S-ATC

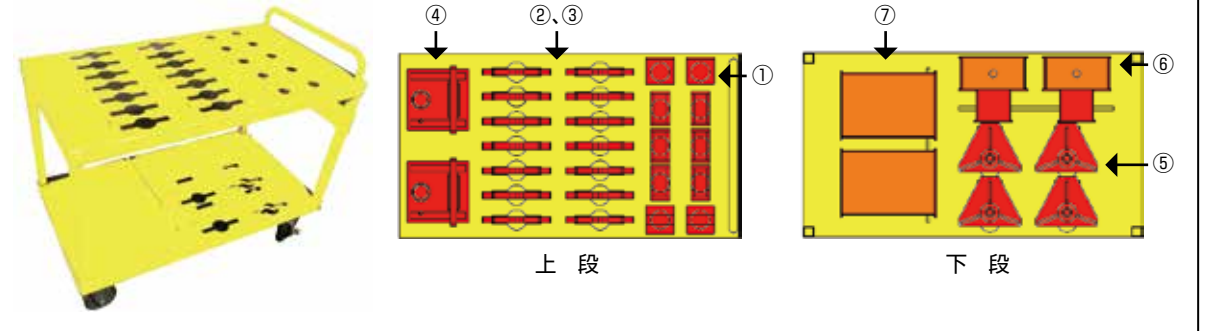
キャタピラツインのアタッチメントをスマートに収納、移動もスムーズ!

- 標準付属品を基本としたメインとオプション品を基本としたサブで分けることで、全てのアタッチメントを効率的に収納。
- 重量のあるアタッチメントも楽々、安全に移動。
- リフトアップ作業を効率化、作業負担を軽減します!

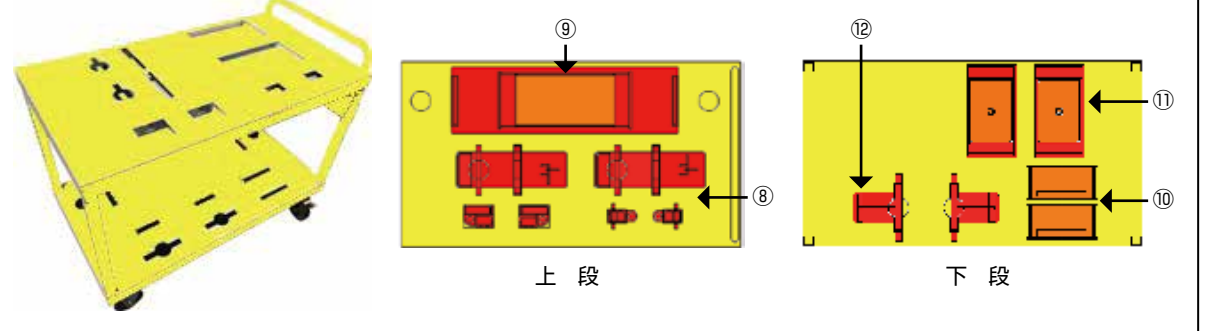


■収納するアタッチメントにより2タイプがあります。

CT-M-ATC (キャタピラ用メインアタッチメントキャリア)



CT-S-ATC (キャタピラ用サブアタッチメントキャリア)



■仕様

No.	品名	個数	No.	品名	個数
①	フレームアタッチメントA,B,C,D	各2個	⑦	エアーススペンション受具A	2個
②	フロントアクスル受板A	2個	⑧	日野小型トラック用受具アタッチメントコア, サブアタッチメントA,B	各2個
③	リアアクスル受板A,B	各6個	⑨	2t独立懸架用受具	1個
④	アクスル受板D(RU仕様のみ)	2個	⑩	シター口用受具	2個
⑤	フレームラック	4個	⑪	延長受具	2個
⑥	エアーススペンション受具C	2個	⑫	リアアクスル受板C	2個

■収納可能リフト一覧

対象リフト	品名	個数
対象リフト	WSL-CT322(FK)	2個
	WSL-CT322RU(FK)	2個
	WSL-CT322UL(FK)	2個
	WSL-CT322Z(FK)	2個
	WSL-PSCS303S(FK)	2個
	WSL-PSCS303S-S(FK)	2個
	TSL-CT482(FK)	2個
	TSL-PSCT482SB(FK)	2個

※写真は試作品の為実際の商品と一部異なる部分がありますが、搭載できるアタッチメントは変わりません。

SHOW ROOM

【トリプルテスターオプション】サイドスリップセーフティロック ABST-OP-SSL2

ロックピンの外し忘れによる検査ミス防止!
トリプルテスターのサイドスリップ踏板のロック/解除がリモコン操作でワンタッチ!

- 踏板ロック/フリーをエアシリンダーで自動化。
 サイドスリップの検査毎に行う踏板ロックピンのロック/フリー作業を手動で行わず、エアシリンダーで自動ロックを行い、リモコン操作でロックを解除して検査が可能です。
- ロック解除はリモコン操作で、検査スタート!
 ロック状態では、指示計にロック状態の表示を行うとともに計測値の表示は行いません。
- ロックピン取り外し忘れによる検査ミス防止。
- 不使用時、踏板の移動による滑り、転倒を防止。
 ロックピンを外した状態で踏板の上に人が乗ってしまうことによる転倒防止、検査毎にロックピンの取付、取り外し作業の効率化を目的としております。
- 終業後などエア停止時もロック状態を維持します。



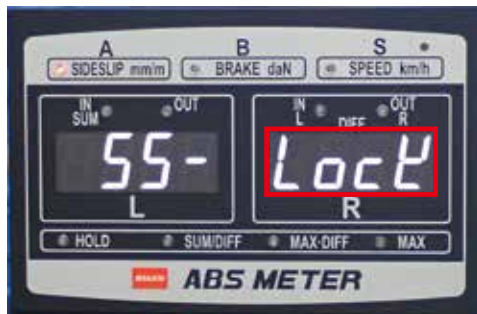
動画はこちら



※ロックマークが表示されます



踏板ロック時の画面指示



デジタルメーター



グラフィックメーター

仕様

型式	ABST-OP-SSL2
適合車検機器	ABST(M) -180C
エア圧力	0.4MPa

※本商品は販売中のトリプルテスター(ABST(M)-180B/C)のオプションとなり後付けも可能です。

SHOW ROOM

【コネクター取り外しツール】マルチピンチャー ISO-918

クリップ、コネクターなど、指先でつまみにくいものの取り外しに!

- ドア、フェンダー、ルーフ部などのクリップの取り外しに。
- 電気ケーブル、コネクターなどの取り外しに。
- 狭い場所での作業、固着して取れにくいコネクターなどにも最適。

本体全長:130mm
 ツノの幅:43mm
 重量:57.5g



つかみやすい先端形状



ヘッドは180度回転

【アライメントデータ】マイクロライン用アライメント基準値データ DATA-JP-21/DATA-IPC-V45.00

2020年4月～2021年3月の新規車種アライメントデータを収録
(国産車と輸入車のいずれも必要な場合は、①および②をご注文ください。)

- 対応機種
 ・ML-EASY3D ・ML-EASY3D-PLUS ・ML8(R)TECH ・ML5000TECH ・ML1800-6C
 ・ML-WIN(アップグレード機) ・ML5001DC ・ML81TECHDC

- 構成品
 ・インストール用CD-ROM : 1枚
 ・取扱説明書(インストールマニュアル) : 1冊
 ・2021年版メニューリスト : 1冊

仕様

型式	① DATA-JP-21	② DATA-IPC-V45.00
商品名	BML 国産・一部輸入データ 2021	マイクロライン用輸入車アライメント基準値データ



ASEAN最大規模の 「BANZAI」ブランド 展示会「TAPA 2023」に出展 をアピール

海外情報 タイ「TAPA 2023(Thailand Auto Parts & Accessories Show)」

■タイ・バンコク

タイにおけるバンザイの海外法人バンザイタイランド(BTL)では、バンコクで4月5日から8日まで開催されたASEAN地域最大の自動車部品とアクセサリーの展示会「TAPA 2023(Thailand Auto Parts & Accessories Show)」に出展、拡大する東南アジア市場をターゲットにBANZAIブランドをアピールしました。



総面積7万平方メートルの大規模展示会場「BITEC」。



会場「BITEC」はバンコク市内からスカイトレインのバンナー駅の至近。

環境面と持続可能性に焦点

「TAPA」は自動車部品と付属品等のマーケットにおいて世界の主要ハブとなるタイでの展示会として、各国の自動車関係者から注目されています。コロナ禍による中止等をはさみ、5年ぶり9回目の開催となる今回の

テーマは「Sustainable for the Future」(未来に向けて持続可能)として、環境に優しく、しかも持続可能な技術・商品に焦点があてられています。



部品、カーアクセサリー、サービス機器など約500社が出展。



アジア各国からも多数のメーカーが出展。

500社、800小間を超える規模で開催

会場となったバンコク市内バンナーの「バンコク国際貿易展示場(BITEC = バイテック)」には自動車部品、アクセサリー、関連サービスなど500社以上の出展者・800小間を超える展示ブースからなる会場規模で開催され、会期中はアジア諸国はもとより世界各国80か国からの来場者を集めました。

BTLでは今回、台湾のリフトメーカー「強倫」と共同でブースを設け、同社の「CARLEO」リフトとともに、バンザイのOEMによるリフトなどの展示を行いました。



BANZAI、CARLEOブランドの共同出展ブース。



リフト、アライメントテスターなど最新サービス機器を展示。



現地スタッフと、各国からの来場者に対応。



拡大するアジア市場へ浸透目指して

近年タイはASEAN地域でも最大の自動車生産・輸出国となっており、とくに生産台数では世界12位の位置を占めています。また一方、部品や付属品においても、国際標準・高品質の商品を生産しており、日本、インドネシア、マレーシア、中国などに向けて年間200億ドルもの輸出を行っています。

バンザイでは今後ともBTLおよび現地でのパートナー各社と連携し、アジア諸国での販売の強化とブランドの浸透に努めてまいります。



「サステイナブル フォー フューチャー」がテーマ、Eモビリティのコーナー。



トヨタは「MIRAI」を展示。



タイ・台湾の合弁メーカーによるEVカーゴ。

全国で秋の展示会が開催

本年は、4年ぶりのオートサービスショーが東京ビックサイトで開催されたことを皮切りに、全国の部品商社や商工組合主催の展示会もコロナ前の状況に戻りつつあります。

この秋の展示会シーズンも、バンザイは各地の部品商社や商工組合と協力して、最新サービス機器の展示を行っています。また一部の会場ではサービス機器だけでなく、OBD車検やエイミングなどのセミナーも開催し、最新情報のご提供を行っています。

是非、最寄りの展示会場へお越し頂いた際には、実際のサービス機器をご覧いただき、皆様の今後のビジネスにお役立てください。

※展示会の開催予定等につきましては最寄りのバンザイへお問い合わせください。



BANZAI GUIDE

OBD検査のプレ運用がスタートしました。皆さんご準備はよろしいでしょうか。

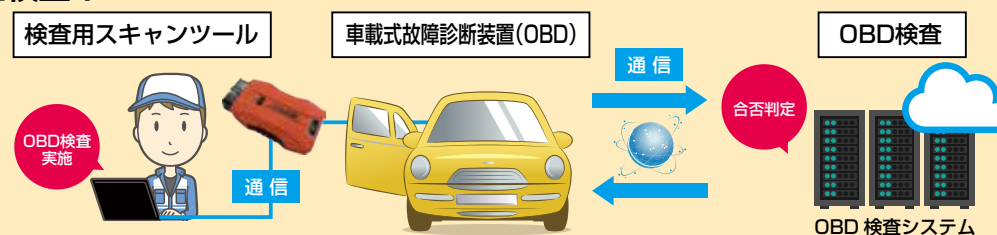
■OBD検査の導入スケジュール

	令和5年		令和6年		令和7年	
	4月	10月	4月	10月	4月	10月
指定工場/認証工場	事業場登録開始					
OBD検査業務	国産車		プレ運用	本格運用		
	輸入車		プレ運用			本格運用

■検査対象車両

- ◎ 国産車:2021年10月1日以降の新型車(フルモデルチェンジ車)
 - ◎ 輸入車:2022年10月1日以降の新型車(フルモデルチェンジ車)
- ※大型特殊自動車、被牽引自動車、二輪自動車を除く

■検査イメージ



■必要な準備

プレ運用をスタートするにあたり、OBD検査システムへの事業場登録、検査用スキャンツールの保有、特定DTC照会アプリのインストール、作業場のインターネット環境などの準備が必要となりますが、皆さんご準備はよろしいでしょうか。

編集後記



オートサービスショー-2023を終えすでに3ヵ月経過し、コロナが5類感染症になったこともあり現在は各地で多くの展示会が行われているかと思えます。私も展示会等に参加させて頂いた際、なかなか顔を合わせて会話することが出来なかった方々と直接会

るのはやはり嬉しく思います。今年は例年より長く厳しい残暑が続く、身体の疲れが溜まり易くなっていますので体調面に十分お気を付けてください。

<小野寺>